

近江米振興協会主催の 令和元年度近江米食味コンクールで大谷章さんが受賞!

近江米振興協会では、令和元年産米の作柄・品質、今後の技術対策の報告や次年度の取り組み方針について意識統一を図ることを目的に「近江米振興フォーラム」が令和2年2月1日に栗東市で開催されました。

フォーラムでは、令和元年度「みずかがみ」・「環境こだわりコシヒカリ」食味コンクールの結果が報告され、「環境こだわりコシヒカリ部門」で米原市藤川の大谷章さんが滋賀県農協中央会賞の「優秀賞」と近江米振興協会長の「優良賞」を受賞されました。



表彰を受ける大谷章さん▲

高品質米に向けた取り組み プレミアム88の栽培に向けて

コシヒカリ・みずかがみのプレミアム88の取り組みが始まり、今年で5年目を迎えます。昨年は気象等の影響により、残念ながらプレミアム88の対象者はありませんでした。本年は今一度、基本技術を励行し高品質・良食味米生産に取り組みましょう。

プレミアム88の要件

- ① みずかがみ・JA米コシヒカリ・特別栽培米コシヒカリで個袋及びフレコンにて出荷した検査等級が1等のお米
- ② JA自主分析で、整粒80%以上・食味値80点以上のお米

これから当面の水稻栽培のポイント

- ① 根域の確保のための深耕(作土15cm以上)
 - ② 健全な苗の育苗
(種子更新・種子消毒・適量播種・適正な播種時期・ハウス温度管理)
 - ③ 植付は好天で、1株当たり3~4本植え
(極端な浅植えは、除草剤等の葉害を招くため植付深は3cm)
 - ④ 適正な栽植密度で植付
(50~60株/坪で過剰分げつにならないよう調整)
 - ⑤ 活着後は、浅水管理
(浅水管理により水温を高めて分げつを促進する)
- ※詳しくは、令和2年産水稻・麦・大豆栽培の手引きをご覧ください。JAに出荷契約いただき、プレミアム88の対象者の方には、加算金のお支払を予定しております。



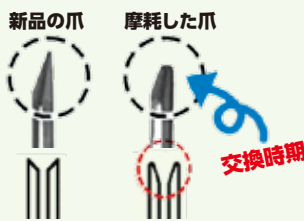
使用前に、田植機の点検を行いましょ!

田植機の不備から生じる問題

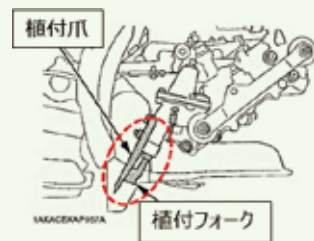
植付部の点検は重要です。不良個所があると植付本数が不安定となり、欠株や苗の植込みとなり、浮き苗・転び苗が多くなります。

植付爪の交換時期

爪の交換時期は、新品から約3mm程度短くなった時が交換の目安となります。新品が無いと分からないのが現状ですが、先端部が丸くなっていれば交換時期です。



植付爪や植付部が正常に作動しないと、苗取り・植付け不良から水稻の品質・収量に悪影響を及ぼし、補植など余分な労力も増加します。



植付部の交換時期

- ・植付フォーク部の消耗
- ・オイル漏れ・ガタつき
- ・腐食による部品の破損